

第61号

## はこざき新聞

平成30年9月1日発行

箱崎睦会HP  
箱崎町箱四町会HP<http://hakozakimutsumi.kashiore.jp/>  
<http://www.hakozaki4.cher-ish.net/>発行者:  
箱崎環境対策協議会  
はこざき新聞編集部  
中央区日本橋箱崎町34-8  
Tel 03-3667-5667  
協賛:  
日本橋法人会箱崎支部富岡八幡宮御本社  
二の宮神輿渡御

永代橋を渡る二の宮神輿。

この後、七部会から一部会の担ぎ手へ引き継がれた。

昨年10月末、箱崎三町会正副町長会議にて、神輿総代に推薦・承認して頂き、今年1月29日の富岡八幡宮神輿総代連合会の承認式を経て、箱崎の神輿総代になることになりました。

二の宮渡御、私は担ぎ手として3回、七部会のタスキをかけ神輿係として1回、そして今年は警備総代という役割を頂き、大木幹事総代と一緒に全行程を二の宮神輿と共に歩き、他部会の渡御を初めて見ることが出来た5回目の参加となりました。

同じ富岡八幡宮の二の宮渡御の中でも、担ぎ手の人数、担ぎ手の入れ替え方、合の手を入れての担ぎ方、等々各部会様々で大変勉強になる1日でした。しかし終わってみると私の足は悲鳴をあげており、iPhoneの万歩計を見ると35,000歩、歩行距離22Kmと、本祭りの3倍の距離を歩いておりました。そんな悲鳴をあげている私の足も、宮入となると痛さを忘れ、楽しく二の宮神輿を担がせて頂きました。

また、今回神輿総代として11日の夜行わられた遷例の儀（本殿から二の宮に御靈を移す神事）、12日の夜行わられた遷例の儀（二の宮から本殿に御靈を戻す神事）、15日に本殿で行なわれた例祭と3つの神事を初めて経験させて頂きました。11日と12日に行なわれた遷例の儀は、荘厳な雰囲気の中、富岡八幡宮の照明（屋台も）がすべて消え、白い布に覆われた御靈が私の前を通っていく光景は、今でもはっきりと頭の中に残っております。

来年は子供神輿連合渡御、再来年は本祭りです。富岡八幡宮のお祭りは未来永劫と続いていくでしょう。この歴史ある富岡八幡宮のお祭りに、箱崎の神輿総代として携われる事に心から感謝しております。そして今後も身を引き締め精進して参ります。ご指導ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い致します。

神輿総代 渡邊健一

## 箱崎宵の縁日

今年の箱崎宵の縁日は、天候が不安定ということもあり、箱崎川第二公園での実施となりました。今夏の異常とも思える高温による熱中症や、雨など天候を気にすることなく準備を進めることができ、無事に開催することができました。昨年より参加者の皆さんのが少ない状態ではありました、500名を超える方にお越し頂き、活気と熱気に溢れておりました。

焼きそばやフランクフルトやかき氷を頬張り、様々なゲームを楽しんで頂いている子供たちの笑顔を見ていると、こちらの疲れも吹き飛びました。今年は例年お願いしております大江戸助六太鼓さんの他に、今回初めて参加頂きました祭り囃子「多加美社中」の皆さんにも縁日を盛り上げて頂きました。

ただ、終盤の盆踊りでは途中、照明が消えるトラブルがございました。楽しみにしていた皆さんには水を差す事態となり申し訳ありませんでした。ただ、照明が消えてもなんら変わりなく踊っている皆さんを拝見し、本当に祭りが好きなのだなあと感心させられました。

来年も皆さんの笑顔と出会えるよう準備をしたいと思いまので、引き続きご期待ください。末筆になりますが、準備にご協力頂きました町会、婦人部の皆さん、心より御礼申し上げます。

箱崎睦会 副会長 竹内 大

## 子供神輿も盛大に！

二の宮神輿渡御の興奮が冷めやらぬ箱崎町では、子供神輿の渡御が続きました。

今回は、宵の縁日でお囃子をお願いした「多加美社中」の皆さんに、神輿を先導していただきました。軽快なお囃子の演奏に続き、子供たちの元気な「ワッショイ」の掛け声が町内に響き渡ります。お囃子があると雰囲気が随分違いますね。大いに盛り上りました。

子供神輿を先導する  
多加美社中の皆さん

渡邊新総代



去年は水をかけられたことに驚いてしまったが、今年は水かけ祭りの楽しさに目覚めてしまった子供も居たとか。来年も再来年も、ずっと箱崎のお祭りを引き継いで行って欲しいと感じました。

はこざき新聞 会田 潔

## 平成30年 高尾稻荷社例大祭 ～地域の絆を深める～

オフィスビルやマンションが建ち並ぶ街中の小さなお稲荷さん。江戸の花街新吉原で名声を博した高尾大夫の神靈を祀っているのが高尾稻荷社です。

昭和初期までは、花柳界すじの信者が多く、縁日には露店なども出て賑っていたようです。

今日においても毎朝お参りを欠かさない地元の人、通勤時に手を合わせる人、参拝に訪れる街歩きのグループ等多くの信仰を集めております。この貴重な史跡を維持管理するため、町会の皆さんの地道な御協力を得て、境内の清掃、樹木の剪定や鳥居の塗装、神殿・金具の磨きなどを行っています。



大祭大祓式の様子



高尾稻荷の例大祭は箱崎北新堀町会の主要な行事となっており、毎年5月の第二土曜日に設定され、今年は5月12日に開催されました。当日お手伝いの町会員は午前10時に集合し、テント張り、祭壇の飾り、奉納幟立て、焼鳥・おでんの準備等それぞれ持ち場で手際よく作業が進められ、12時より大祭大祓式が厳かに行われ、富岡八幡宮の宮司からお清めを受けました。箱崎他町会からも多数の方々が参拝されました。その後味自慢の焼鳥・おでんを食べながら和やかに地域の親睦を深めていきました。お酒、干物、おもちや等のフリーマーケットも盛況でした。

当地に伝わる歴史を偲ばせるこの史跡を大切にお護りすると共に、高尾稻荷社例大祭を地域の皆さまの安全・

## 第3分団優勝

5月20日（日）浜町グラウンドで2018年度日本橋消防団ポンプ操法審査会が行われ、第3分団は一昨年以来4回目の優勝を飾りました。当日は町会の皆様にはたくさんの応援をして頂き、また訓練中の騒音や道路占有へのご理解、そして何よりも交通整理を毎回していただきましたことを感謝致します。

さて今回の布陣、1番員（筒先）は限界突破がキャッチフレーズの赤塚団員、2番員（伝令）は都大会優勝メンバーで伝説の漢・森口班長、3番員（トビロ）は女性とは到底思えないキレの良い動きの堀田団員、4番員（機関）はベテラン“水の魔術師”吉益部長。指揮者は私、ロートル小笠原が努めました。

例年6月の初旬に行われる大会ですが今年は半月早い5月20日開催という事で訓練回数が若干少なく不安がありました。操法に関しては皆経験者ばかりですし、大会が近づくにつれ訓練の内容は濃いものになって行きました。

操法大会はご存じの通りタイムと規律節度で争われますが、大会一週間前の署と本団の激励視察の折から、3分団は訓練通りの操法で優勝の可能性があるとの評価を頂けたので、逆にプレッシャーがかかり変な動きにならないように、普段通りの動きを行う事に



訓練中の第3分団



私たちが“おもてなし”します!!

健康祈願と親睦を深める場としていきたいと思っておりますので、皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

箱崎北新堀町会 副会長 中謙太郎



表彰式を終えて

専念しました。大会当日は好天に恵まれ演技順も4番目という流れの良い位置でした。本番は何の気負いもなく本当に普段通りの操法が出来たと思います。結果は本当に優勝でした。

これは日頃ご指導を仰いでいる和氣副団長の力に寄るものと思っていますが、分団員同士の意思疎通が取れていたことも良かったと思います。個人賞の金メダルは1番の赤塚団員、4番の吉益部長の2名が受賞しました。

6月30日には三越特別食堂にて祝勝会が開かれ大勢の方々からお祝いのお言葉をいただきました。ありがとうございました。第3分団はこの優勝におごらず、地域防火防災のために訓練を重ねて参ります。また、分団員数10名の極小分団ですので少しでも関心のある方、男女は問いませんので入団をお待ちしています。

日本橋消防団 第3分団  
副分団長 小笠原宣夫



祝賀会の様子

## お化け吉田松陰像???

2011年の箱崎公園リニューアルに合わせて旧日本橋高校（元箱崎小学校）校舎内から移動した吉田松陰像ですが、夜間は照明が下から照らされて気味が悪いと…。

この秋、上から照らす方式の明るい



照明に改良されます。ご期待ください。

はこざき新聞



大人気のゲームコーナー



ふれあっています♪



消防ホースの体験コーナー



大江戸助六太鼓さんの演奏



お待ちかねのbingoゲームが始まるよ！



二の宮神輿渡御に参加した箱崎睦会メンバー



消防ホースからの放水が心地よい夏祭りでした

子供たちの「わっしょい」  
掛け声が町内に響きました



黄金に輝く大神輿は、重い！デカイ！

## すずめ会と盆踊り

婦人部有志による踊りの会「すずめ会」は、今年も8月の「箱崎宵の縁日・盆踊り大会」「中央区大江戸まつり」に参加しました。いずれも、子どもから大人まで「盆踊り好き！」な人々が集まり大盛況、すずめ会の面々も愉快に踊っていました。

今年の課題曲は「東京音頭」と「ベイサイドブギ」。お馴染みの曲ですが、きれいに揃った踊りを披露できるよう、目線や指先、手の振り方、足の動きなどの稽古も重ね本番に臨みました。

ところで今年から耳にするようになった「東京五輪音頭-2020-」。これは1964年の「東京五輪音頭」のリメイクですが、振り付けに「二〇二〇」という手の動きがあったり、野球・ソフトボールなどの競技のポーズが組み込まれたりと新しい踊りです。私はまだ覚えきれておらずアワアワしているのですが、オリンピックの夏に向け盛り上がる一曲、また「すずめ会」で稽古して、しっかり踊れるようになりたいところです。

すずめ会 伊藤亜紀

すずめ会の皆さん  
中央区大江戸祭り・盆踊り大会会場にて



## 神輿ミュージアム見学

先日、箱崎睦会役員の中で、千葉・行徳の中台製作所（創業150年）が神輿ミュージアムをオープンさせたことがテレビ放映されたと話題となり、急ぎ7月7日（土）役員会開催日に合わせて睦会メンバー7人（大木、石井、眞野、渡邊、永富、会田、白崎）で見学に行くことになりました。

行徳は、江戸時代に栄えた町で、寺院が多くあり、祭りも盛んな所であったことから当時、宮大工も集まっており、以前は、浅子・後藤・中台と3軒の神輿店がありましたが、現在は中台製作所しか残っていません。



神輿ミュージアムの前にて

神輿ミュージアムは、中台製作所の敷地内に建てられ、大小4つの神輿と神輿作成の工程が展示されており、また行徳の祭りの様子も上映されていました。展示されている大きい神輿1基は、行徳の祭りやイベントの時に使われているそうです。職員から詳細な説明も受け、裏にある工場（作業場）も案内してもらい、我々からの質問にも対応してもらいました。丁度、工場の方には、台座の修理を終えた茅ヶ崎の神輿があり、見ることができました。



説明を受ける参加者



細かな彫刻が施された装飾品



作業場の様子

現在は、神輿の作成は年間3基程度で、殆どは修繕だそうです。古い神輿になると江戸時代に作成された神輿を直すこともあるそうです。また、北海道から九州の神輿に携わっており、規模の割には全国区なのには驚きました。

東西線妙典駅より徒歩約10分の神輿ミュージアムは、日曜・祝日を除く毎日オープンしています。また入場は無料ですので、神輿に興味のある方は見学に行かれては如何ですか？

箱崎睦会 副会長 白崎敏孝

## 隅田川河畔ビアパーティ ‘今昔’

「継続は力なり」と言ったって、どの位続いているのか。三町会ビアパーティしかりである。

私が所属している箱崎町箱四町会がいつ創立されたか定かでない。いい加減なもので、いつも日帰りの町内旅行を一泊でやりたく、7,8年前に箱四町会創立80周年と銘打って行った。これではいけないと想い、記録広報部を新設した。

話が逸れたが、隅田川河畔ビアパーティも三町会で行うようになってから20年は優に過ぎた。紙面を借りてであるが、三井倉庫さん、日本IBMさんは只只感謝の言葉しか無い。この二社の協力が無ければ、そもそも成立しない行事であった。

一時期、千名を超えた参加者も700名弱と落ち着いてきている。隅田川



テラスの管理者である東京都が、当初は場所提供に難色を示し、交渉に苦労したことを思い出す。開催時の心配事は多々あるが、何しろ天候である。現在ほど確実な予報もなく、東陽町から大手町を結ぶピンポイント予報を信じ、朝9時にやるかやらぬか決断した。今でこそ笑えるが、馬の背を分けるとの言葉があるが、隅田川を挟んで江東区は夕立、箱崎は天気など、ぞつとする場面には何回か遭遇した。大塚町会長と私で、どちらが雨男か真剣に議論したものである。

以前は予備日を設けて天候に対処したが、一日限定とした事で心配も少しは軽減した。天気予報も正確性を増し、一日限定で今日は雨と思い会場を箱崎川第二公園に移した。いつまで待っても雨が降らない。あの時程、雨乞いをしたことはない。参加者から金返せ、の声が聞こえてきそうな気がして仕方なかった。



最近は知り合いのハワイアンバンドの皆さんにご厄介になっている。「継続は力なり」今後ともよろしくお願い申し上げます。

取り留めのないことを書いてきたが、箱崎連合町会主催の隅田川河畔ビアパーティも箱崎睦会の皆さんの協力によって今後も続していくことだろう。自慢しても良いと思う。近隣町会、中央区、東京都第一建設事務所、本当に評判は最高である。

来年のビアパーティ、新たな趣向が登場するか今から楽しみである。

箱崎町箱四町会 町長 増渕一孝

## 箱崎SC活動報告

日頃より箱崎ソフトボールクラブ（箱崎SC）の活動に対して、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、箱崎SCは昨年秋の中央区大会優勝をかぎり、念願であった都民大会に中央区代表として出場させて頂きました。都民大会に際し、基本的には自分達が中央区大会で戦ったやり方をそのまま出す事が一番大事であると考え、

普段どおりのスタイルで挑みました。  
ただ、それが大きな間違いであると知  
らされるのには、時間はかかりませ  
んでした。

足立区代表チームとの戦いでしたが、結果は2-8の敗退となりました。点数以上にソフトボールの厳しさを教えられた試合だったと思います。先取点は取りましたが相手は自分達の守備体系などを一球毎に把握し、ここぞとばかりバント攻撃をしてきました。この作戦は正直中央区大会では、見られません。ここまで徹底的にバント攻撃をされた事は初めてでした。

自分達の守備は対応が非常に遅く、弱点をつかれた一戦となりました。守備に時間を取られ、途中でタイムリー・ヒットを打たれると言う完全な負け試合でした。ソフトボールの基本である徹底的に相手の弱点を突いていく戦いを、まさに体で経験しました。この経験を無駄にせず、勝ちにこだわった戦略をひとつでも増やし優勝を目指して頑張って行きたいと思います。

お陰様で春の中央区大会も優勝し、秋には中央区大会3連覇をかけて戦います。また、50才以上の都大会、実年都大会でも中央区代表として出場させて頂き、ベスト8に入りました。11月には、一般社会人大会(東京都大会)にも出場させて頂きます。

都大会以上の戦い方も少しづつ経験し、これからもますます発展させていきたいと思います。これからも皆様のご支援ご声援の程何卒宜しくお願ひ致します。また、ソフトボールが好きな方、随時部員を募集しております。

箱崎ソフトボールクラブ  
キャプテン 永富啓三郎

新聞部編集スタッフ

二の宮神輿渡御に合わせて、はこざき新聞スタッフで記念撮影をしました。

写真の6名十箱崎三町会の3町会長を  
スタッフとして、はこざき新聞をお届  
けしています。引き続きよろしくお願  
いします

後列：大木、白崎、内田  
前列：伊藤、会田、永里

はこざき新聞編集部  
編集長 会田 潔



区議便り

## ○豊海橋改良工事について

本年1月より豊海橋の改良工事を行っており、車両は通行止めで歩行者（自転車）は仮人道橋にてご通行いただいています。区民有形文化財の豊海橋が建設されたのは昭和2年9月で、建設後90年を経過し老朽化が進みました。橋の安全性を確保するため、補修、補強を行うとともに、橋の高さを上げることにより船の往来など治水の安全性を向上させる工事です。工事完了後はこれまで通り、片側に歩道を設置し車道は相互通行になる予定です。完成予定は来年の5月末で、暫くご不便をおかけしますが、ご協力をお願い致します。

なお、工事に伴い一時撤去された公衆トイレや樹木等の橋詰広場については改良工事完了後にリニューアル整備される予定です。

## 工事中の 湊橋

手前は  
仮人道橋



## ○日本橋上空の 首都高地下化

日本橋上空の首都高地下化への実現のため、昨年より国土交通省、東京都、首都高速道路を交えた首都高日本橋地下化検討会を立ち上げ検討が行われてきましたが、7月18日の検討会において一定の方向性が示されました。対象区間は竹橋から鎧橋付近まで延長1.8km、一石橋・常盤橋付近から地下になり、日本橋上空の高架部は撤去され

日本橋から江戸橋付近はシールド工法を検討中、鎧橋付近で高架部と接合というイメージです。

首都高速道路の都心環状線（竹橋～江戸橋）が日本橋上空に開通したのは、前回の東京五輪の前年昭和38年であり50年以上経過しています。解決すべき課題はまだありますが、日本の中心点としての日本橋は観光のシンボルでもあり、日本橋の上空に青空を取りもどそうという地域の皆様はじめ多くの方々の思いが実現する方向となりました。

## ○中央区本庁舎の 建て替えにむけて

中央区本庁舎は昭和44年の竣工後48年が経過し、建物の老朽化や窓口の分散化による利便性の低下など、さまざまな課題が生じているため、本庁舎の建て替えについて検討しています。基本的な方針や計画を策定するため、区民の代表、関係団体、学識経験者、区議会議員で構成された検討委員会を設置して第1回6月12日より検討会がスタートしました。

建設予定地としては、現在の中央区役所と京華スクエアなどが候補地となっています。

中央区議會 染谷眞人



現在の  
中央区役所と  
京橋スクエア



東京スクエア

集団登校が無くなつて…

今では有馬小学校の集団登校が無くなつたと風の便りに聞きました。

集団登校にも色々と問題があつたのでしょうかね。

年寄りの考え方で恐縮なのですが、集団登校には良いことがあつた気がいたします。

登校中は、上級生が下級生に気を配つたり、また下の子はお兄ちゃんお姉ちゃんの言うことをよく聞いたり、互いが同学年のお友達との間柄では分からぬ、人づきあいの仕方を身につけられる時間だつたと思ひます。

兄弟姉妹のすくない子にも色々な学年のお友達ができる機会になつていたのかもしれません。上級生下級生に顔見知りの子が増えると、外で遊ぶにも楽しい輪が広がつたと記憶しています。

少子化の時代ですが、集団登校の時間を通じて子どもたちは社会性やマナーのようなものを身につけていたのですが…と勝手ながらアレコレ考えてしまった次第でした。

## 日本橋桜フェスティバル

3月16日（金）から4月15日（日）までの期間、日本橋で春の恒例イベント「日本橋 桜フェスティバル」が開催されました。

昔ながらの桜の名所が数多くある日本橋ですが、その日本橋で今年は「アーティスティックに楽しむ、春。」をテーマに、アートな花見体験や桜の名所を巡りながら行うリアル宝探し、飲食店の“桜メニュー”的べ歩きなど、桜にちなんだイベントが行われました。

出店数はなんと約150店舗。その中に今回、箱崎町から「お茶のうちだ」と「ポエム日本橋店」がこのイベントに参加しました。

「お茶のうちだ」では、桜のかりんとうと桜シェイプの茶碗、桜ティーと春を感じさせる品々の販売、また「ポエム日本橋店」では、桜シフォンケーキや桜ラテといった春や桜をテーマにした期間限定メニューなどの提供がありました。桜メニュー購入で1店舗ごとに1つのスタンプがもらえ、3つのスタンプを集めるとその場で当たる抽選会に参加することができるといったイベントもあり、盛り上がりを見せました。

現在は「ECO EDO 日本橋 2018 ~五感で楽しむ、江戸の涼~」が、日本橋地域にて9月24日（月・祝）まで開催されています。桜フェスティバルを見逃してしまった方は、こちらのイベントも覗いてみてはいかがですか？

はこざき新聞 永里智恵美



桜フェスティバルのパンフレット



## チャリティー フリーマーケット

4月22日（日）、東日本大震災復興支援・第8回箱崎チャリティーフリーマーケットを箱崎公園で開催しました。

中央区報を始め情報誌などにも開催告知を掲載したことにより、今年は申込受付の段階から非常に多くの問い合わせをいただきました。天候にも恵まれたこともありますが、芝生部分の出店スペースも全て埋まったのは皆様の復興への思い、関心の高さだと感じます。

今回は、こちらも4月の恒例行事「手作り鯉のぼりを作ろう」を同時開催しました。

- ①参加者や来場者のお子さんが退屈しないように
  - ②鯉のぼりイベントの集客力
  - ③スタッフのマンパワー不足
- これらをなんとかしようと、同時開催するに至りました。

フリーマーケットのみですとお昼過ぎにのんびりした時間が訪れます、鯉のぼり作成に夢中になる子供達のおかげで終始賑わっていました。子供のパワーはすごいですね。初めての試みでしたが、上々だったのではと思います。

当日は4月としては非常に暑く、日中は28℃。ずっと日向だったため、暑くて途中でお帰りになった出店者もいらっしゃいました。また、動線がどうしても外周になってしまい、集客に偏りがあったと思います。出店ブースは申込順にしていますが、いろいろ考慮する必要があると改めて感じています。

フリーマーケットの売上金などから集まった義援金です。

石巻市 145,212円

熊本市 8,526円

昨年より37,000円ほど多くの義援金を送ることができました。

なお、石巻市へは中央区役所を通じて送金、熊本県へは直接振込致しました。

今後もいろいろなことを試みたいと思っていますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

箱崎睦会 広報 川崎 亮



## 81匹の手作り 鯉のぼりが泳ぎました

4月22日（日）12時から、箱崎イベント部による「手作り鯉のぼり」が開催されました。今回は初の試みとして、箱崎睦会のチャリティーフリーマーケットと同日開催です。フリーマーケット開催中の箱崎公園の一角を「手作り鯉のぼり」スペースとして確保し、町内に住む子供たちに鯉のぼりの絵柄を思い思いに描いてもらいました。

昨年までは一週間早く鯉のぼりを揚げていましたが、同日開催とすれば「場」も盛り上がるだろうとの提案で、二つのイベントを一緒に行いました。

4月としてはとても暑い一日となりましたが、箱崎公園はフリーマーケットのお客さんで賑わっていました。そこへ手作り鯉のぼりにやってきた子供たちも加わり、相乗効果で箱崎公園内は大盛況!!



「手作り鯉のぼり」は、予め魚の形に切っておいた白いシート（不織布）に油性ペンで絵を描いてもらっています。あっさりと絵を描く子がいれば、中には細かく丁寧に鯉のウロコを描いている子もいました。付き添いのお父さん・お母さんの方が夢中になって描いている事も…。

お陰様で、過去最高の81匹の可愛い鯉のぼりが完成しました。子供たちの健康を願いながら、イベント部で青空の箱崎公園に飾り付けしました。色々とご協力をいただいた若葉会の皆さん、箱崎睦会の皆さん、ありがとうございました。

イベント部 会田 潔

